

# ちいき

令和4年  
秋号  
No.34

〈発行〉福生市町会長協議会 会長 清水 喜久雄

## 今号の主な見出し

■ 1面～3面 町会・自治会紹介

■ 4面 災害に備える

## 町会・自治会が支える自助・共助・公助

3つのテーマから町会・自治会の活動を紹介します

### 支えあい

- ◆安全・安心を支える活動  
(防犯パトロール、防災訓練など)
- ◆子どもたちの健全育成に取り組む活動  
(あいさつ運動、声かけ運動など)
- ◆まちを美しくする活動  
(町内清掃、花いっぱい運動など)

### うるおい

- ◆地域住民の健康づくりを進める活動  
(運動会、ラジオ体操など)
- ◆福祉に関する活動  
(敬老会、募金活動など)

### にぎわい

- ◆イベント活動(夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)

内出町会は新奥多摩街道と陸橋通りが交差する、市内の交通起点となる地域にあります。JR 拝島駅へのアクセスもよく、ちよつと足を休めてしまう熊川分水も流れており、地域の方はもとより、市外から訪れハイクングを楽しむ皆様も近年は多くなっております。

### 支えあい

① 内出町会

会長 石川 博三

## さりげなくお隣に

## 今号の町会・自治会



内出町会の主な活動、訓練、イベントでは世代を超えて「おしゃべり」を楽しんでもらえる時間を作る事を常に心掛けており、欠かせない団体として内出子供会、青少年育成内出地区委員会のご協力を頂いております。例年行われる「マスのつかみ取りと防災訓練」・「町内ミニ運動会」など多数の参加者がありますが、ここ数年はコロナ禍の影響で残念ながら開催が出来ませんでした。

(2面につづく)



マスのつかみ取り



町内を流れる熊川分水



小道のさりげない植栽



感染症対策グッズを配布



可搬ポンプ訓練の様子

今年度は感染予防を考慮致しました、屋外イベント「ふれあいさつま芋掘り大会」を秋頃に計画しております。自然の恵みに感謝をし、皆様と一緒に楽しんでもらえる時間を作りたいと思っております。

日頃より町内の皆様には「美化運動」・「資源回収」・「植栽活動」などにおいて毎回多数の参加を頂き、役員一同感謝申し上げます。

**にぎわい**

**にぎわいの本拠地**

**熊川明神会館**

② 鍋ヶ谷戸第一町会

会長 清水 喜久雄

運動会も実施しています。町会が一体になって大人も子供も一緒に一日を楽しみ「くじ引き」でお開きになります。

また、築六十年の会館を使用し「自主防災研修ではAEDを使い「応急救護」の訓練など、小中学生

鍋一町会の会館「熊川明神会館」は熊川神社境内にあります。神社の歴史は古く、慶長二年に造られたようで、今日、東京都の指定有形文化財として重要視されています。こんな歴史のある神社の一角で町会行事のイベントの企画が議論され町会を動かしています。

町会行事で一番大きなイベントで盛り上がるのは「夏祭り」でしょう。神輿や山車はこの神社で巡行の安全祈願を済ませ、出陣しています。

本宮では、鍋ヶ谷戸交差点の「元氣広場」に熊川地区の五団体の山車、神輿が集結し、それぞれの演武の競り合いが行われます。気合の入った演武は正に一見の価値が充分にあります。

も一緒に体験しています。境内ではスタンドパイプや消火器で初期消火の訓練など、皆さん真剣な表情です。普段でも会館使用は頻繁で、大正琴グループ・輪投げ同好会・健康体操教室・カラオケ会・小地域活動うめ組などの予約で、会館はフル回転



笑顔で町内運動会（平成30年）



夏祭りの演武の競り合い（平成30年）



スタンドパイプによる初期消火訓練



会館で応急救護訓練（令和元年）

です。

あらためて先人達の残した功績に深く感謝とお礼を申し上げ、今後も鍋一町会の発展に役員一同頑張つてまいります。町会未加入の皆様、是非とも加入の検討をお願い致します。



本六会館前を彩る花々

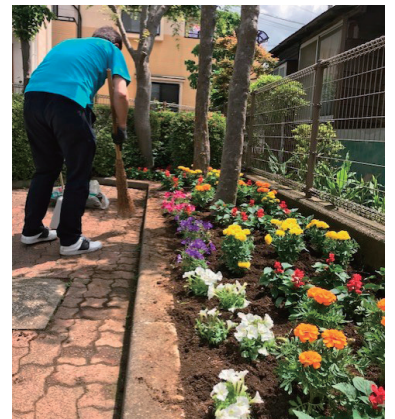
本町第六町会は、福生第一小学校の北東に隣接する住宅街にあり、小規模な町会ならではの親しみやすい雰囲気です。今年もW.I.T.F (ウィズ) コロナの町会活動を模索しつつ、「支え合い」を大切にしながら、美化活動や安全安心を守る活動を行っています。

春と秋には花いっぱい運動を行い、町会活動の拠点となる本六会館

**支えあい**

**安全安心な  
まちづくり**

③ 本町第六町会  
会長 平原 保



本六公園の整備

には、年間を通して美しい花々が咲き揃っています。併せて、本六クリン作戦を実施して、多くの会員が町内の美化活動に取り組んでいます。こうして季節の花々の栽培の楽しさ、美化活動への協働の喜びなど、会員同士が支え合い、心の交流を進めています。

また安全・安心を守る活動として、毎年、防災防犯パトロール、歳末夜間パトロールを実施しています。特に昨年度は、福生消防署からのご指導・ご支援を賜り、本六会館にて防災研修「防災ビデオシアター」を開催しました。防災映像「Be Alive 生きる」首都直下マグニチュード7.3」を視聴した後、参加者が感想や意見を交換しながら地域防災について考えて交流を深めました。さらに、会員の全家庭に防災グッズを配布して、各家庭の防災用品を見直したり、防災や減災に備えた



歳末の町内を防災防犯パトロール



「防災ビデオシアター」視聴の様子

りする機会となりました。こうした活動を通して、会員同士が支え合い、安全に安心して暮らせる町会活動に取り組んでいます。

**もっと知りたい! 町会・自治会のこと  
ホームページを是非御覧ください!**

**福生市 町会長協議会 website**

福生 町会



「ちいき」バックナンバーも掲載しています。



## ～災害に備える～

平成28年の熊本地震では、熊本県内各地区の主要な交通ルートが不通となり、警察・消防・自衛隊が駆け付けるまでの間、自主防災組織による安否確認や救助が行われました。また、避難所でも救援物資の配給が間に合わない中で、町会・自治会の役員が中心となって、各家庭から食料を持ち寄って炊き出しを行うなど、地域の住民で団結し、避難所の運営を乗り切りました。

普段から、町会・自治会の地域の行事や活動を通じて住民のつながりが維持され、顔の見える関係が築かれていたことが、災害時の迅速な安否確認や避難所生活での助け合いに生かされたとされています。

(参考文献 熊本県 自主防災活動事例集)



令和3年度福生市総合防災訓練では、市内の小中学校において感染症予防に配慮した避難者受付訓練を実施しました。各地区の町会長や自治会長をはじめとした自主防災組織が参加し、避難者の受付の手順などを確認しました。

### 【自主防災組織とは】

市内すべての区域で、町会・自治会を中心に組織されています。避難訓練や防災視察研修などを行い、いざというときに活動できるよう備えています。毎年実施されている福生市総合防災訓練へ参加し、初期消火訓練や避難所の設営などを体験しているほか、多摩川沿いの地域では地区合同の水防訓練なども実施しています。



南田園の四地区合同水・防災訓練

これまでの大規模災害に関する調査から、公的機関による救助・支援（公助）の限界と地域における共助の重要性が再認識されています。平常時の顔の見えるつながりが、災害時に生かされます。

**町会・自治会は皆さんの加入をお待ちしています。**

**【加入方法】** 右のQRコードを読み込み、表示された申込フォームから必要事項を入力し、送信してください。

後日、町会・自治会長より連絡があります。



**【町会・自治会に関する問合せ先】** 福生市役所 生活環境部 協働推進課 TEL:042-551-1590 (直通)

広告掲載スペース

会報「ちいき」編集委員 (令和4年9月)

編集委員長 青海 俊伯

編集委員 関根 孝明・石川 博三

小林 陽一・田村 正彦

